

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

教育いちかわ

第3期市川市教育振興基本計画

～次のような方針を掲げています～

方針1 感性を豊かに働かせ、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる

方針2 “自分らしく輝くための学び”の環境の実現と学びのセーフティネットを構築する

方針3 社会の変化を見据えた教育環境の整備を図り、市川の質の高い教育を推進する

■発行
市川市教育委員会
〒272-0023
市川市南八幡1-17-15
TEL 334-1111

■企画編集
市川市教育センター
〒272-0015
市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査 市川市の結果



全国学力・学習状況調査が、4月18日(木)、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に実施されました。

今回の調査問題は、従来の『知識』を問うA問題と、『活用』を問うB問題を一体的に問う形式に変更されました。これは、新たな時代に必要な資質・能力は、相互に関係しながら育成されるものであるとの考え方からです。

各教科の正答率をそれぞれ全国と比較すると、市川市の児童生徒の正答率は、おおむね同等となりました。(表1)

今回初めて実施された英語では、全体として全国平均を上回っていますが、引き続き、ALT(外国語指導助手)と英語担当教員とのチーム・ティーチング等、生徒への興味関心を高める指導を進めていきます。

国語で課題が見られた「自分の考えをまとめて書くこと」については、各学校において、自分の考えを持ち、人に伝える学びを積極的に取り入れた活動を引き続き進めていきます。

小6	市川市	千葉県	全国
国語	62	63	63.8
算数	68	66	66.6

中3	市川市	千葉県	全国
国語	73	72	72.8
数学	58	58	59.8
英語	57	56	56.0

(表1) 平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査 教科別調査結果(平均正答率%)

また、質問紙調査から「朝食を毎日食べている」「読書が好き」「新聞を読んでいる」「家の人と学校での出来事について話す」という児童生徒ほど、教科の正答率が高い傾向が見られ、基本的な生活習慣の確立、社会への関心、家族とのコミュニケーションが学力向上につながるの分析結果が出ました。

各学校でも自校の調査結果を分析し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に積極的に活用していきます。

【指導課】

市川の特産品

梨について勉強しています



市川市では、小学校3年生で、市川の特産である梨について学習をしています。9月12日(木)、曾谷小学校3年生が、学習の一環として、梨の収穫を行いました。年間を通してお世話になっている梨園で、「交配」や「摘果」などを体験し、今回の「収穫」で4回目の体験です。

この梨園では、曾谷小学校のほか、百合台小学校も受け入れてくださっています。

この日は「あきづき」という種類の梨を収穫しました。梨農家の方に収穫の仕方や熟している目安となる梨の色を教わり、児童一人一人が良いと思う梨を真剣に選んでいきます。友達同士で「これは色はいいけど小さめだね。」「落とさないように持っていてあげるよ。」などと声をかけ合いながら収穫していました。収穫した梨は、いただいて各自が家に持ち帰ります。梨農家の方からは「大きい梨や赤っぽい梨など、どんな梨がおいしかったか、観察しながら食べてみてください。それも梨の勉強になります。」とお話がありました。



体験学習の最後には、児童が質問をしました。「一日にどれくらい収穫するのですか。」「緑色だった梨が、なぜ黄色くなるのですか。」との質問に、梨農家の方は「多い時には一日に1000個以上収穫します。」「『おいしくなりましたよ』と梨が黄色くなってサインを送ってくれるのだと思います。」と丁寧に答えてくださっていました。

今回の学習では、学習活動のサポートや登下校の見守り活動を常々行っている“アクティブ・シニア”の方々にもご協力いただきました。地域の方々や地元の産業に携わっている方の温かい支えによって、子供たちは郷土への理解と愛着を深めながら日々成長をしていきます。

【教育センター】

ボールに親しむ楽しさを体験

市川市では、千葉ロッテマリーンズ協力の下、マリーンズ・ベースボールチャレンジを開催しています。10月15日(火)には大洲幼稚園で、うみ組ともり組の年長の園児が、それぞれ40分ずつ体験活動をしました。マリーンズからは、ベースボールアカデミーの武藤コーチと堀内コーチ、そして、ダンスアカデミーのインストラクター2名も来園されました。



準備体操の後、インストラクターのリードで、音楽に合わせたリズム体操をしました。この体操は、楽しみながら体の使い方を覚えてほしいと考えられたもので、捕球する動作、投げる動作、打つ動作が入っています。

次は、実際にボールを使って、捕る、投げる、打つ活動です。武藤コーチが「ボールを捕るときは、『パクッ!』と声を出そうね。」と声をかけると、遊戯室いっぱい「パクッ!」「パクッ!」と楽しげな声が響きます。ボールを投げるときも「パッ、トントン、クルッ!」と、動きに合わせたかけ声をかけて教えてくださいました。投げ方の練習の後、的あてゲームをすると、ぎこちなかった投げ方も、何度か投げているとみるみる形になってきました。コーチからの「今日は何が楽しかった?」という問いかけに、一斉に「投げるの!」「バットで打つ!」と、あちらこちらから元気な声で答えが返ってきたことから、園児たちも大満足だったことがわかります。

武藤コーチからは「小中学生の投げる力は、昔に比べて全国的に低下しています。就学前の園児たちにもたくさんボールに親しんでほしい。今日の体験がそのきっかけになってくれれば嬉しいです。」というお話がありました。

【教育センター】

梨作り農家の人に、梨作りの一年間の仕事についてお話を聞きました。

梨のしゅうかく時期

7月	8月	9月	10月
あきづき	あきづき	あきづき	あきづき

梨作りのスケジュール

12月	11月	10月	9月	8月	7月
しゅうかく	しゅうかく	しゅうかく	しゅうかく	しゅうかく	しゅうかく
ふくろかけ	ふくろかけ	ふくろかけ	ふくろかけ	ふくろかけ	ふくろかけ
てきか	てきか	てきか	てきか	てきか	てきか
こうはい	こうはい	こうはい	こうはい	こうはい	こうはい
せんてい	せんてい	せんてい	せんてい	せんてい	せんてい
土作り	土作り	土作り	土作り	土作り	土作り
もどえ・草とり	もどえ・草とり	もどえ・草とり	もどえ・草とり	もどえ・草とり	もどえ・草とり

おいしい梨を作るひみつが仕事の中にあるんだよ。

市川市教育委員会作成の社会科副読本「私たちの市川」(市内小学校3・4年生が使用)より

パラスポーツすこい!楽しい!



千葉県教育委員会では、東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援を行っています。9月20日(金)、北方小学校で、パラアスリート活用事業の一環として、車いすバスケットボールの選手による特別授業が5年生を対象に行われました。

2名の選手のデモンストレーションの後、児童が車いすバスケットボールを体験しました。

シュート練習では、児童がゴールポストの高さに苦労しながらも、選手からの「惜しい!」「いいね!」などの声に後押しされ、楽しそうに活動していました。

その後は、クラス対抗での試合です。試合前には、男子児童が「勝つぞー!」と気合を入れます。そして、みんなでボールを追いかけ、汗をかきながら何度もシュートを打っていました。試合を終えた児童からは「楽しかった。もう一度試合をやりたい。」「車いすを動かすので腕が疲れたけど、いつものバスケより面白い。」「車いすがぶつかってもグラグラしないから、どんどん動ける。」などの感想がありました。



北方小学校では、この授業に向けて、普段の体育の授業でもバスケットボールを行い、パラリンピックに関する勉強もしたそうです。

選手からは「自分も車いすバスケを始めた頃は全然うまくなかった。でも、『いつかうまくなるんだ』と目標を持って練習したら、日本代表強化指定選手になれた。みんなも何か目標を持って、仲間と一緒に努力してほしい。」とメッセージがありました。
【教育センター】

農業・稲作体験活動

美味しいお米と野菜がたくさん!

市川市では、稲作や野菜作りを通じて自然や人とふれあい、勤労と収穫の喜びを体験する中で、心豊かな子供たちを育てることを目的として、農業・稲作体験活動を行っています。農業や教員の経験者等で構成されている「市川米っ人くらぶ」の協力をいただき、平成13年から小川再生親子ふれあい農園内で行われている事業です。



稲刈り

稲作では、「代掻き」「田植え」「はぜ作り」「稲刈り」「脱穀」、野菜作りでは、小松菜、長ねぎ、玉ねぎ、じゃがいも、落花生、さつまいも等の植え付けから収穫まで、年15回程度活動しています。さらに、農園内の環境や生態系を学ぶため、「昆虫教室」等の野外学習を作業前に実施する活動日もあります。

参加した子供や保護者からは「農業・稲作体験を通じて自然とのふれあいの素晴らしさを実感した。」「作物への感謝の気持ち、収穫までにかかわった多くの方々への感謝の気持ちを持てた。」「教科書を読むだけでは学習できないことを親子で学ばせてもらった。」という声が数多く寄せられています。
【青少年育成課】



長ネギ植え

アイデアの宝庫!



☆児童生徒科学展☆

9月7日(土)、8日(日)、今年も千葉県立現代産業科学館で市川市児童生徒科学展が開催され、2日間で3,500名を超える方々にご来場いただきました。



各学校から選ばれた作品は、科学論文333点、標本80点、科学工作品115点、計528点にのぼりました。発想豊かな作品や、長い時間熱心に研究した科学論文が数多く出品されており、強い探究心を持って取り組んだことが伝わってきます。審査の結果、65点が見事入賞しました。

さらに、入賞作品のうち32点は、県の科学展審査会へ出品されました。そのうち、10点が入賞し1つの作品が全国展に出品されるなど、すばらしい成績を収めました。

今年、国立天文台が参加している国際共同研究チームが、史上初めて銀河の中心にある「ブラックホールの影」の撮影に成功したというニュースが、全世界に配信されました。その成功の裏では、望遠鏡の運用や観測データの計算など、日本の研究者も多大な貢献をしました。

市川市の子供たちからも、将来、解明されていない事象を明らかにする人が出るかもしれません。これからも自然や科学に対して高い興味関心を持ち、探究する心に一層磨きをかけ、粘り強く挑戦し続けてくれることを期待しています。
【指導課】

こども作品展・新聞展のお知らせ

今年度で70回を迎える市川市こども作品展・新聞展が、開催されます。

幼稚園、小・中・義務教育学校、特別支援学校から選ばれた約2,500点の図工・美術、技術、家庭、書写の作品や、学校新聞コンクールの優秀作品を展示します。子供たちの創造力豊かな作品を、是非ご覧ください。



日時: 12月5日(木)~12月8日(日)
午前9時30分~午後5時
※但し、入場は午後4時45分まで

場所: 市川市文化会館 地下一階
展示室 大会議室

【指導課】

青少年指導者育成事業

~ユースリーダー講習会

中央こども館でのレクリエーションゲーム活動~



「ユースリーダー講習会」は、中学生・高校生を対象としたグループワークを中心にリーダーシップを向上させ、地域での活躍を担う青少年リーダーの育成を目的とした講習会です。

9月28日(土)は、5回目の講習会として、生涯学習センターの中央こども館が行っている事業である「青空ひろば」においてリーダー活動を行いました。



この活動は、「青空ひろば」に参加している幼児~小学生を相手に、5班に分かれた受講生たちが自分たちで考えた様々なレクリエーションゲームを披露し、楽しんでもらうものです。初めは人前でレクリエーションゲームをすることに受講生も緊張していましたが、これまでの講習会で獲得した知識やスキルを生かして場を盛り上げ、参加してくれた子供たちを笑顔いっぱいにすることができました。今回の体験を通して、初めて経験したことや学んだことが成長につながり、これからの様々な活動に生かされていくと思います。
【青少年育成課】

健康教育講演会

8月22日(木)、全日警ホールで、「健康教育講演会」を開催しました。明治大学文学部教授の諸富祥彦先生に、「カウンセリングテクニックを生かした人間力」という演題で、講演をしていただきました。先生は、大学での指導にとどまらず、200冊以上の編著書があり、テレビにも多数出演されています。先生の豊富なご経験とユーモアにあふれた語り口から、援助希求の重要性、人間力の高め方について楽しく学ぶことができました。



講演会に参加した教職員や保護者の方々からは「聞いているだけで元気になるような講演でした。子供との関わり方をもう一度見直そうと思いました。」「子供の立場になって楽しく体験しながら学ぶことができました。話し方や聞き方もこれから気をつけていこうと思います。」といった感想が寄せられました。

人間力を高めるためには「深く聴き、深く語る体験が必要」とのことでした。今回の講演は、各家庭や学校での子供たちとの関わりに生かされるような内容でした。【保健体育課】

地域学校協働本部の取組

今年度、市川版コミュニティ・スクールの組織の一つである「学校運営協議会」を全ての市立学校・園に設置し、学校運営に地域住民の声を反映させ、よりよい学校運営を図る取組をしています。

次年度は、もう一つの組織である「地域学校協働本部」を全ての中学校ブロック内に設置し、ブロック内にある各団体同士のネットワークを強め、様々な「教育活動」「地域活動」を活発にする取組を推進していきます。

地域学校協働本部とは？

中学校ブロックのネットワークづくり
～地域学校協働本部の設置～

市川版コミュニティ・スクール
すべての子供たちのために

組織① 学校運営協議会
□ 各学校(園)に設置する
□ 15名以内の会議体

組織② 地域学校協働本部
□ 各中学校ブロックごとに設置する
□ 地域学校協働活動推進員が運営

《本部のねらい①》情報共有や協議を行う

地域学校協働本部の会合を開催し、協議を行う(任意)

コミュニケーションを発行し、活動の「見える化」をする(必須)

《本部：ねらい②》協働活動の充実をはかる

学校支援活動をさらに充実させ、様々な体験活動を経験させる

- ◆ ゲストティーチャーの派遣
- ◆ 補助的なボランティアの派遣
- ◆ 教育資源の発掘と情報共有

協働 ↑ ↑ 支援

地域ぐるみで子どもたちの成長を支える

第八中学校の取組紹介

(平成28年度 地域学校協働活動に係る文部科学大臣表彰)受賞)

- ★「ティーチャーズ・カフェ」
放課後、先生方が“ほっと一息つける空間”を提供しています。この時間を活用し、「学校でどのようなニーズがあるのか?」「今、大変な事は、どんなことなのか?」を、地域学校協働活動推進員が先生方から伺って、今後の活動へ生かしています。
- ★「放課後カルチャー」
「部活動」ではありませんが、生徒の興味がある活動を本部が支えています。『将棋』『書道』『手芸』を同好会として開催しています。【学校地域連携推進課】

須和田の丘支援学校に学校司書配置 ～より身近な学校図書館へ～

市川市では、「生きる力・夢や希望を育む学校図書館」をめざす学校図書館像に掲げ、読書教育・学校図書館活用を推進しています。今年度、須和田の丘支援学校へ学校司書が配置されたことにより、市内全ての学校に学校司書が配置され、今まで以上に学校間の連携が密になりました。中央図書館と学校間での図書の貸出も積極的に行われています。

須和田の丘支援学校では、学校司書が配置されたことにより、司書教諭と学校司書が連携を図りながら学校図書館の環境を整えるなど、子供たち、先生方へのサポート体制が強化されました。読書週間では、これまでより多くの学級が本を借りて学校図書館に訪れ、より身近な学校図書館になっています。

高等部の委員会活動では、学校司書も加わり、おすすめの本の紹介をするポスター作りやクイズ作りにも挑戦しています。生徒が好きな本を一冊選び、本の内容に合わせたクイズを作成します。



クイズに答えるために、必然的に本を手取ることになり、様々な本に出会える機会となります。小学部・中学部・高等部の多くの子供たちが本に親しむことができるように、先生方と学校司書が協力しながら、子供たちが中心となって活動しています。【教育センター】

インターネット・SNSの使い方 再確認を!

インターネットは、現代の生活には欠かせない便利なツールですが、SNSにおける人間関係トラブル、悪質な出会い系や購買サイトによる犯罪被害、オンラインゲーム依存等、様々なリスクが伴います。各学校では、ネット利用の注意点やモラルについて、発達段階に応じて子供たちに指導しています。ご家庭でもサイトやゲーム、SNSなど、お子さんの利用状況を把握し、普段からその危険性について話し合っておくことが大切です。場合によっては市や県の関係機関や学校に相談するなど、心配な状況を見逃さないようご注意ください。【指導課】

後期も実施します!「悩み相談@いちかわ」

教育委員会では、今年度よりLINEを活用した相談窓口「悩み相談@いちかわ」を開設しています。前期は8月19日(月)から9月13日(金)に開設しました。後期は1月20日(月)から2月14日(金)まで開設します。市内の中学生等約13,000人を対象とし、QRコード付き案内資料を1月中旬に配付する予定です。【少年センター】

学習支援クラブ 塩浜学園の取組

地域と学校が一体となり子供たちの学びの充実を目指す「学習支援クラブ」。今回は、平成27年度の開校時から学校独自の教科「塩浜ふるさと防災科」を通して、地域の方々との協働活動をしている塩浜学園の取組をご紹介します。



「塩浜ふるさと防災科」では、9年間を貫くカリキュラムの中で、地域に誇りや愛着を持った思いやりのある豊かな心と、自主的に問題解決に取り組む力の育成を目指しています。地元のことを学習していく

なかでは、地域ボランティアの方々との意見交換をしたり、専門的な知識をお持ちの方から学ぶ機会をつくったりしています。

9月20日(金)には、8・9年生を対象に、東日本大震災発生時のハイタウン塩浜の状況について講演会が行われ、自治会の方が当時の様子を語っていただきました。生徒たちからは「塩浜の被害の具体的な様子を知ることができました。」「地域のイベントでコミュニケーションをとっていたことで、災害時には助け合おうという気持ちに繋がったということに驚きました。」といった感想があがりました。

学習支援クラブは、地域の方々と共に子供たちの豊かな心を育む魅力的な授業づくりを支援しています。【指導課】

みんなでチャレンジランキング!

「わんぱくセミナー」は、小学校5・6年生を対象とし、遊びやグループワークを通して集団活動における協調性やコミュニケーション能力を養うことをねらいとした講習会です。



8月30日(金)に市川市スポーツセンターで、「チャレンジランキング」を開催しました。チャレンジランキングは、7種類の個人種目と3種類のチーム種目を行い、スコアやタイムを競い合います。

個人種目では、お互いライバル意識を燃やし挑戦しつつも、チーム種目では、みんなで声をかけ合い、協力しながら、よりよい記録を出せるように頑張りました。通常の講習会は、八幡小会場・行徳小会場の2か所に分かれて行っていますが、「チャレンジランキング」では、どちらの会場の参加者も一緒に活動を行いました。普段話すことがない他の会場の参加者とも、お昼休みには一緒にレクリエーションゲームをするなど、仲がとて深まりました。また、「わんぱくセミナー」の次のステップの講習会である「ユースリーダー講習会」のお兄さん・お姉さんが運営のお手伝いをしてくださいました。このように地域の活動のお手伝いをしている様子を見て、小学生は「みんなを楽しませるお兄さん・お姉さんみたいになりたい!」と感じたようです。

【青少年育成課】

薬物乱用防止キャンペーン

10月6日(日)と9日(水)に、薬物乱用防止キャンペーンを行いました。リーフレット等の配付をするボランティアとして第一・第二・第六・第七・高谷・南行徳の各中学校、県立市川工業高校・市川東高校・特別支援学校市川大野高等学園、昭和学院高校から合わせて150名ほどの生徒が参加しました。さらに6日のコルトンプラザ会場では、第七中学校の吹奏楽部50名が素敵な演奏を聞かせてくれました。



薬物被害は、身近に迫る危険であり、たった一度の使用でも、どんなに少量でも人生を狂わせます。参加した多くの中高生がそれを知り、被害から自分自身や身近な人を守る第一歩として何が出来るかを考える機会となりました。【少年センター】

子供にかかわる相談はここでできます!

◆教育相談(教育センター)

予約TEL 320-3336(教育センター相談室)

予約TEL 318-3223(行徳相談室)

火~土(午前9時~午後5時)

対象:3歳~中学校3年生

子育てや発達等の悩みに関して、専門的知識を持つ教育相談員が保護者との面接相談をしています。

◆ほっとホット訪問相談(教育センター)

TEL 320-3362(教育センター相談室)火~金(午後0時30分~午後5時)

TEL 318-3223(行徳相談室)木のみ(午後0時30分~午後5時)

対象:小学校1年生~中学校3年生

不登校や子育てについての保護者からの相談を電話で行っています。

自宅等に出向いてお話を伺うこともできます。



◆少年相談(少年センター)

TEL 320-3340 月~金(午前9時~午後5時※木は午後7時)

メールアドレス youngnet@city.ichikawa.lg.jp

対象:小学校1年生~20歳未満

家庭生活、交友や健康など様々な悩みの相談(電話、メール相談あり)を行っています。

本人からの相談も可能です。

【教育センター】

「昔の暮らし」を体験

市川歴史博物館では、2月16日(日)まで、体験型の企画展「発見・体験 昔の暮らし」を開催しています。

この企画展は、主に小学校3年生の学習内容に合わせた展示となっており、100年前と60年前の生活の道具を比較しながら学べるコーナーのほか、教科書にも出てくる洗濯板やたらい、井戸ポンプなどに、実際に触れることのできる体験コーナーを用意しています。

また、市内各所の古写真や小学校関連の資料も展示していますので、ご家族のみなさんで「市川の昔」について学ぶ機会としてみてはいかがでしょうか。

企画展「発見・体験 昔の暮らし」

期間:開催中~2月16日(日)

時間:午前9時~午後4時30分

休館日:月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

年末年始(12月28日~1月4日)

入館料:無料



【関連イベント】

◇正月かざり作り体験 ※参加費無料

日時:12月14日(土) 午後1時30分~

対象:小学校3年生以上・20名程度

申込方法:歴史博物館(TEL373-6351)へ電話

◇その他、昔のあそび関連の情報は、「市川歴史博物館」Webページをご確認ください。【考古博物館】

愛の一声運動



~市川市少年補導員連絡協議会の活動~

平成30年度に50周年を迎えた、市川市少年補導員連絡協議会では、青少年の健全育成のために様々な活動に取り組んでいます。160名の補導員が13ブロックに分かれ、各地域で児童生徒の登下校中や放課後、夜間などに定期的な見守り活動を行っています。気になる児童生徒へ、「愛の一声」の気持ちを大切にしながら声をかけ、温かいまなざしで子供たちの成長を見守っています。



また、各地域の見守りの中で有害図書や児童生徒が集まりやすい場所の調査、危険個所の確認などを行い、学校や地域と情報共有をし、協力関係を築いています。地域の身近な大人として、補導員が子供たちの健全な成長を支えています。

【少年センター】

令和2年度 小・中学校の講師一斉登録



1 日時

①令和元年12月7日(土)・8日(日)

午前10時~午後3時 市川市教育委員会会議室

②令和2年1月11日(土)

午前10時~午後2時 生涯学習センター3F 教育センター第2研修室

2 募集職種

(1) 県費講師…臨時的任用講師・非常勤講師

(教員・養護教諭・学校栄養職員・事務職員)

(2) 市費職員…少人数学習等担当補助教員、特別支援学級等補助教員

3 応募方法

義務教育課・教職員班へ電話でご連絡ください。

TEL 383-9261

※詳細はWebページをご覧ください。

【義務教育課】